

アートを巡る奥四万十



中平さやか「道」（中土佐町立美術館「そして続いていく」より）



日帰りバスツアー

岩本寺

おすすめポイント

- ✓ すさきまちかどギャラリー「現代地方譚 12」（館長の解説つき）
- ✓ 中土佐町立美術館「そして続いていく」特別展覧会（学芸員解説つき）
- ✓ 四国八十八カ所第37番札所 岩本寺本堂（天井画）と四万十川を表現した清流殿見学、「アートと仏教」のお話つき
- ✓ ラunchは須崎のサカナ本舗で「須崎勘八+当日オススメ寶盛り定食」をご用意

出発日 2025年 2月14日（金）

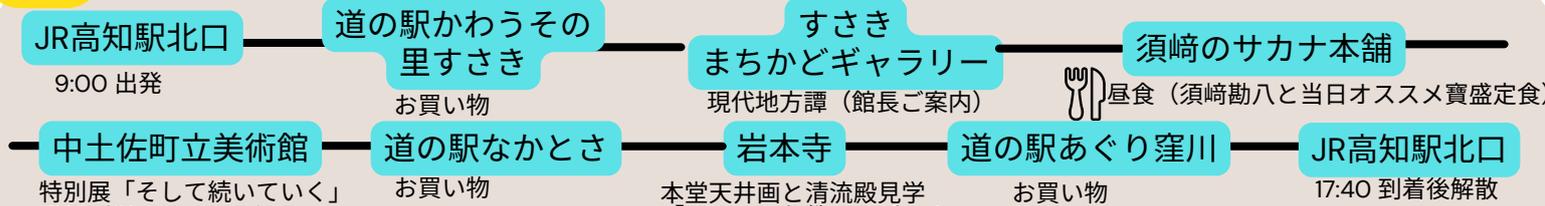
旅行代金 大人お一人様（子ども同額）
12,400円(税込)

日程



すさき自慢の魚をランチにご用意

(イメージ)



添乗員：同行します
 食事：昼食1回
 募集人員：19名 最少催行人員：13名
 利用バス会社：宮地観光バス（マイクロバス予定）

- ・奥四万十高知ホームページからお申込みいただけます。または申込書に必要事項をご記入の上FAXまたはEメールでお申込みください。
- ・お申込み受付後に、旅行代金を事前振込でのお支払いとなります。

ご旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しますので、事前にご確認のうえお申し込みください。

この旅行は一般社団法人奥四万十高知(以下「当社」といいます)が旅行企画・実施するものであり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することになります。契約の内容・条件は、ホームページ・パンフレット等、別途お渡しする旅行条件書、旅行出発前にお渡しする確定書面(最終旅行日程表)及び当社旅行業約款募集型企画旅行の部によります。

●お申し込みと旅行契約の成立 (1)旅行のお申し込みは所定の申込書にご記入の上お申込金を添えてお申し込みください。＜申込金:お一人様につき 5,000円以上＞

当社が契約の締結を承認し、申込金を受理したときに契約が成立します。電話、郵便、FAX等により予約いただいた場合は、当社が予約を承諾する旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申し込みの手續きをお願いいたします。

(2)申込金は「旅行代金」「取消料」「運送料」のそれぞれ一部又は全部として取扱います。(3)団体・グループを構成する旅行者の代表としての契約責任者から旅行申込みがあった場合、契約の締結及び解除等に関する一切の代理権を契約責任者が有しているものとみなします。

●旅行代金に含まれるもの (1)旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金、宿泊費、食事料金、観光料金(入場・拝観・ガイド等)及び消費税など諸税 (2)添乗員が同行するコースでは、添乗員経費、団体行動に必要な心付けを含みます。(3)上記の諸費用は、お客様のご都合により一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●取消料 お客様はいつでも次による取消料をお支払いいただくことにより、旅行契約を解除することができます。

旅行契約の解除期日<日帰り旅行>	取消料(おひとり)
旅行開始日の前日から11日前に当たる日以前	無料
10日前に当たる日以降	旅行代金の20%
7日前に当たる日以降	旅行代金の30%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%
旅行開始日の当日	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加	旅行代金の100%

●特別補償 お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故によって身体または手荷物の上に被った一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金及び見舞金を支払います。

●旅程補償 当社は当パンフレットに記載した契約内容のうち、当社旅行業約款(募集型企画旅行の部第29条別表第二)に掲げる重要な変更が生じた場合は同条に定める所による変更補償金をお支払いいたします。

●基準日 この旅行代金は令和6年12月18日現在の運賃・料金を基準としております。

《旅行企画・実施》

一般社団法人奥四万十高知

高知県高岡郡津野町永野257 〒785-0201

TEL 0889-55-3755
FAX 0889-55-3770

■営業時間 9:00~17:30 土・日・祝休み
 ■高知県知事登録旅行業3種第139号
 ■総合旅行業務取扱管理者/富岡 哲也

■募集型企画旅行実施可能区域
 津野町、須崎市、橋原町、中土佐町、四万十町
 高知市※ ※は交通拠点のある区域

奥四万十 OKU-SHIMANTO
 自然豊かな奥四万十の魅力発信

旅行業公正取引協議会 会員

→ 裏面もご覧ください

総合(国内)旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行契約に関して不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者へお尋ねください。

まちかどギャラリー 現代地方譚

「現代地方譚12 小さきに宿る」

小さきものに惹かれることがある。

— 文旦の果肉の粒状の瑞々しい輝き。水泡に映る雲と空の蒼さ。群れ泳ぐメダカの流動。 —

創造の原初にある喜びについて、思議と対話から地域の将来を想像するアートプログラム

アーティスト | 赤木 遥 / 阪上洋光 / 浮 / 大園彩芳 / 平野史恵 / 濱田明李

アートを端緒に須崎のまちの魅力と課題を探ります。

独自の視点を持つアーティストが須崎市に一定期間滞在し、住民との交流、地域資源の活用に取り組みながら作品制作を行い、その成果を展示・発表します。地域住民に対し今日的な文化・芸術表現に触れる機会を、アーティストには創作・発表の場を提供し、両者が協働しながら地域の魅力・豊かさをこれまでとは違う指標で示し、ローカルから新たな価値を訴求します。

現代地方譚は、様々なジャンルの表現者が須崎に滞在し、リサーチや作品制作を行う取り組みです。“いま”の須崎の在りようを皆で語り、地域の将来を想像するアートプログラムです。作品内容は当日のお楽しみです。



2024年の現代地方譚より

中土佐町立美術館

「二館合同特別展 そして続いていく」

様々な技法や表現スタイルで制作を続ける、高知ゆかりの作家16名を香美市立美術館・中土佐町立美術館の2館で紹介する展覧会です。自分の表現と日々向き合う作家たちにとって、この場が今後も続いていく表現活動の一歩となれば幸いです。また、個性豊かな作品と触れ合うことで生まれる感動や感性が人でも多くの人に広がり、そして続いていくことを望みます。学芸員さんの解説に耳を傾けながら鑑賞いたします。

出品作家：今崎順生 大場真美 花織 坂本聖斗 島村悠 杉本春奈 田中愛子 玉木かつこ 中平さやか 深浦亜希 丸岡敬子 山崎天峰 山中美佳 横江孝治 横山千春 依岡みどり



大場真美「波の轍」

四国八十八カ所第37番札所 岩本寺

お寺にあるアート

1978年（昭和53年）に本堂新築の際、全国から公募した花鳥風月から人間曼荼羅まで、575枚の絵が天井を彩ります。また、清流殿は四万十川をイメージした天井画に彩られています。

アートと仏教の関係

岩本寺の方からアートと仏教について特別にお話を聞きます。境内にある様々なアート作品を鑑賞しながら参拝のお時間もごさいます。



清流殿